


お花の栽培シリーズ「クリスマスローズ」		
2005年12月	師走(しはす)・極月(ごくげつ)・余月(よげつ)・春待月(はるまちづき)	●来春への準備期間
●木枯らしが吹いて、木々も枯れ葉がめだつようになりました。ナンテンやウメモドキの赤い実がとともきれいです。さびしくなった庭を片付けて、来春にむかって気分を一新しましょう。		
庭木の作業	・バラの植付け／庭木の元肥	
草花の作業	・フクジュソウの植え込み／落葉集めと腐葉土づくり	

今月の誕生花	カトレア・スイセン・ポインセチア	
今月の花	クリスマスローズ 花言葉/私の心をなだめて、追憶	
	市販されているクリスマスローズの仲間には、花色の豊富なレンテンローズもあります。	
	<p>原産地は中央アジア、地中海沿岸。キンポウゲ科ヘレボルス属の多年草草本。草丈は20～30cm。開花時期は12～2月。最盛期は1月。葉の形状は鳥足形、根出、縁の上半分に鋸歯。花色は白。別名：ヘレボラ、ヘレボレス。</p> <p>一重咲きのバラにも似た、白い花です。クリスマスの頃に花が咲くので、この名前がつけました。</p> <p>イエス・キリストが生誕したとき、羊飼いがみんなでお祝いをもってかけつけました。ある貧しい娘は、花を捧げようとしたが、雪の野原には花など咲いていません。途方にくれていたら、天使が舞い降りてきて雪の下から白い花を探しだしてくれました。その花がクリスマスローズだということです。</p> <p>古代のヨーロッパでは、この花の香りは病人から悪臭を除くとされ、ギリシャでは狂人を正気にもどすとか、憂鬱を追い払うといわれました。花言葉の「私の心をなだめて」は、そんなところから生まれたのかもしれない。</p>	

今月からお花の栽培シリーズがスタートします。

お花の栽培シリーズ

今月の花

クリスマスローズ



寒さには強いのですが、夏の高温多湿は苦手です。夏季は木陰などで直射日光を避け、乾燥気味に育てます。一般の植物と異なり、秋から春にかけてが生育期です。この時期は、北風のあたらない、よく日の当たる場所で管理します。乾燥しないように、表土が乾いたら水やりをします。ただし、やりすぎは禁物です。



● 植え付け

植えつけや植え替えは、9月下旬に行います。株分けをすると勢いがよくなるまで2年かかるので、植え替えるときにはなるべく株分けしないでひとまわり大きい鉢に植え替えるようにします。



● 株分け

株分けは、よく切れるハサミで大きく分けること!!



●年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
生育状況	花前				花期	休眠期			花後				
置き場所	屋外の日当たりのいい場所				屋外の半日陰/露地栽培は日よけをする			屋外の日当たりのいい場所					
水やり	3~4日に1回	1~2日に1回	1日1回	1日1回	1~2日に1回	※秋から花が終わるまでは乾かさないようにする			3~4日に1回				
肥料	週1回、液肥を与える		花が終わった直後に化成肥料を5株あたり1握りを与える			元肥			週1回、液肥を与える				
病気害虫	月1~2回、アブラムシなどの防除で薬剤散布												
作業								植えつけ					
								植え替え/株分け					